

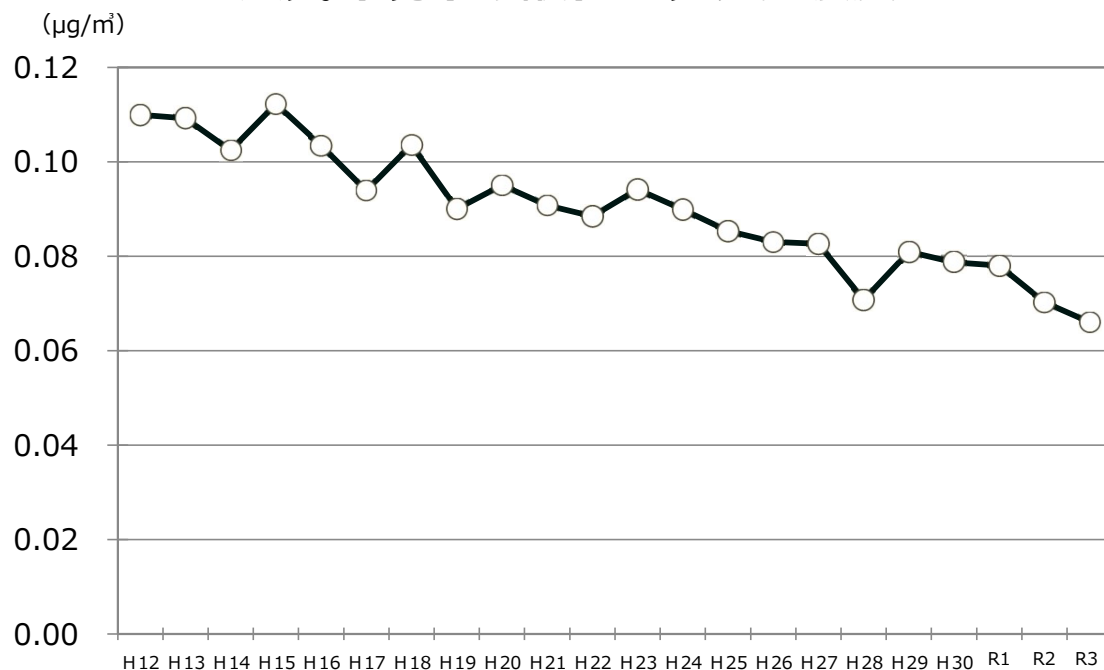
大気中の酸化エチレン濃度について

資料2-1



- 大気環境中の酸化エチレン濃度は平成12年度から令和3年度にかけて減少傾向にある。
- 参考までに化審法上のリスク評価（一次）評価Ⅱにおいて導出されている有害性評価値（ $0.092\mu\text{g}/\text{m}^3$ ）と各地点の測定結果を比較したところ、有害性評価値を超過している測定地点数は、令和3年度実績で全277地点中31地点であった。

大気環境中の酸化エチレン濃度



（参考）有害性評価値超過地点数の推移

年度	H29	H30	R 1	R 2	R 3
有害性評価値超過地点数	35	45	40	26	31
全測定地点数	242	236	234	237	277

出典：有害大気汚染物質モニタリング結果（環境省）